

2020年度後期 講義概要

授業科目名	解剖生理学 2					
主担当教員名	相見良成					
配当学年 等	看護学科 1 年					
学習目標	人を対象とする看護の実践にあたっては、人体のあらゆる側面について学び、深く理解することが重要である。このための学修領域のひとつである解剖生理学は、人体の「構造」と「機能」を学ぶ学問であり、看護学 教育において最重要の基礎となるものである。この解剖生理学を単なる知識ではなく、看護の現場で自由自在 に応用可能な実践的な知識として定着させることを目標とする。					
授業概要	解剖生理学IIでは、講義・演習を通じて、解剖生理学Iと同様に器官系ごとに、分子から個体のレベルについて系統的に学ぶ。筋骨格系、泌尿器系、生殖器系、神経系、内分泌系、免疫系、外皮系について学び、さらに 成体の正常構造機能のみならず、妊娠、個体の発生、成熟、生殖に関連する解剖生理も学ぶ。					
授業内容	講義では、まず解剖学的側面、その後に生理学的側面を学ぶというスタイルを基本とし、これに生化学、病理 学、病態生理学など周辺の学修領域についての解説を適宜加える。演習では骨標本の観察や顕微鏡実習などを通じて、講義で学んだ知識のより一層の定着を図る。					
年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	課題有・無	授業形式(原則、対面。)
令和 2年10月06日(火)	2	相見	骨格系 1	骨格の肉眼解剖と機能		対面
令和 2年10月06日(火)	3	相見	骨格系 2	骨、軟骨の顕微解剖と機能		対面
令和 2年10月06日(火)	4	相見	骨格系 3	四肢骨の観察		対面
令和 2年10月20日(火)	1	相見	骨格系 4	体幹骨の観察		対面
令和 2年10月20日(火)	2	相見	筋系 1	筋系の肉眼解剖と機能		対面
2年10月27日(火)	1	相見	筋系 2	筋の顕微解剖と機能		対面
2年10月27日(火)	2	相見	神経系 1	神経系総論		対面
2年11月10日(火)	1	相見	神経系 2	体性神経と自律神経		対面
2年11月10日(火)	2	相見	神経系 3	末梢神経系		対面
2年11月16日(月)	3	相見	神経系 4	中枢神経系		対面
2年11月17日(火)	1	相見	神経系 5	高次脳機能		対面
2年11月17日(火)	2	相見	神経系 6	感覚器の構造と機能		対面
2年11月24日(火)	1	相見	泌尿器系 1	泌尿器の構造		対面
2年11月24日(火)	2	相見	泌尿器系 2	泌尿器の機能		対面
2年12月01日(火)	1	相見	生体観察法	体表解剖		対面
2年12月01日(火)	2	相見	外皮系	皮膚の構造と機能		対面
2年12月08日(火)	1	相見	血液	血液の構造と機能		対面
2年12月08日(火)	2	相見	顕微鏡法 1	骨組織、筋組織、泌尿器の観察		対面

2年12月22日(火)	1	相見	顕微鏡法 2	循環器、呼吸器、消化器の観察		対面
2年12月22日(火)	2	相見	生殖器系 1	男性生殖器の構造と機能		対面
3年01月05日(火)	1	相見	生殖器系 2	女性生殖器の構造と機能		対面
3年01月05日(火)	2	相見	生殖器系 3	胎児の成長と発達		対面
3年01月12日(火)	1	相見	生殖器系 4	妊娠時の母体の解剖と生理		対面
3年01月12日(火)	2	相見	内分泌系 1	内分泌器の構造		対面
3年01月19日(火)	1	相見	内分泌系 2	内分泌器の機能		対面
3年01月19日(火)	2	相見	免疫系1	免疫系の構造と機能		対面
3年01月26日(火)	1	相見	免疫系2	免疫		対面
3年01月26日(火)	2	相見	顕微鏡法 3	血液の観察		対面
3年02月02日(火)	1	相見	顕微鏡法 4	神経系、内分泌、感覚器の観察		対面
3年02月02日(火)	2	相見	総合問題演習	問題形式による総復習		対面
授業形式・ 視聴覚機器の利用	指定教科書を基本に、スライド、ハンドアウトを用いて講義を展開する。演習では標本や模型の観察を行う。					
評価方法	筆記試験に加え、受講態度、レポート、小テストなどにより総合的に評価する。					
教科書・ 参考文献	系統看護学講座・人体の構造と機能[1] 解剖生理学 (第10版) 医学書院					
学生への メッセージ						